

平成 20 年 11 月 18 日(火)
M F A 事務局会議室にて
1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 3 0

将来構想委員会 Jクラブ設立小委員会（仮称）

出席者（8名）長友副会長・日浦専務理事・小原・牧野・富永・富高・長倉・谷水

この小委員会は、宮崎県サッカー協会（以下、M F A）長期構想の中にある

「M F A の 2 0 1 5 年の目標像」

1・多くの県民の支持を得て、J加入を目指すクラブチームが活動している。

を受けての小委員会である。

議事録

宮崎県からどうやってJ加入を目指すチームをつくっていくか？

- ・M F A が主導して新たなチームを創設して強化していく為には時間も資金も無い。
- ・そこで主となる既存のチームを選定して、そこにM F A として協力・応援しながら上位カテゴリー進出をサポートする。
- ・選定したチームにはM F A として出来る限り応援するが、そのチームからもキッズ指導やサッカースクール開催時の選手派遣等の協力をしてもらい相互協力の形を取る。
- ・そのチームは強化を図り、九州リーグ～J F L～と。M F A はサッカーファミリーの増大化を図りながら宮崎県民の意志としての「J」を目指す大きな流れをつくる。

その選定チームは？

- ・県内には数多くのチームが活動しているが、中でもトップチームのホンダロック S C（以下、H L S C）に打診したところ、H L S C から下記のような返答があった。

- ・「人間尊重」「喜びの創造」を理念として、宮崎県スポーツ文化向上の一翼を担う。地域密着型で社会的感動を創造し、従業員の起爆剤としての役割、人材育成を目的とし、「アマチュアスポーツ（サッカー）で日本一」を目指して活動を展開しているところである。
- ・H L S C としてもM F A と相互協力しながら目的を達成したい。

まとめ

- ・本日決まった事を理事会に諮り承認を得たい。
- ・次回の小委員会では、サッカーファミリーの基礎づくりとしてキッズ委員会、4種（少年）委員会の委員長に出席していただきアドバイスを頂く。